

Astri-Elise Hartveit tale Bergen 2025

本日は日本のウォシュレットについて話したいと思います。

まず、ウォシュレットの事を知らない方がいらっしゃるかもしれませんので説明します。

ウォシュレットというのは洗浄機能がついた便座の事です。見た目はノルウェーの洋式トイレと似ていますが、ウォシュレットにはビデを初め、様々な機能があります。例えば、便座が暖かくなったり、音が出る機能があったり、トイレに入ると便座のふたが自動で上がったりします。ノルウェーのトイレは流すしかできません。

ノルウェーと日本は同じような先進国なのに、日本のウォシュレットと比べるとノルウェーのトイレは原始的なものではないでしょうか？

じゃ、なぜノルウェーに、ウォシュレットがほとんどいないのでしょうか？

実際に、ノルウェー人の意見を聞くため、アンケートを作りました。アンケートに協力してくれたのはほとんど日本語を勉強している学生です。したがって、アンケートの結果は現実的ではないかもしれませんが、ウォシュレットを使った事がある人が多かったのもので、その人の意見は興味深いと思います。

質問一、ウォシュレットを使った事がありますか？と聞きました。この質問にはやく 58%が「使った事がある」と答えました。

更に使った事が無い人にも聞きました。

質問二、使った事が無いのはどうしてですか？と聞きました。87.5%の人は「使って見たいが、使う機会が無い」と答えました。そして、12.5%は「ウォシュレットが怖いから使いたくない」と答えました。

それから次に質問三、自分の家にウォシュレットが欲しいですか？やく 74%は「ウォシュレットが欲しい」と 10.5%は「欲しく無い」と答えました、そしてやく 16%は「分かりません」と回答しました。

アンケートによると多くのノルウェー人はウォシュレットが欲しい見たいです。つまり、ウォシュレットがノルウェーに無い理由はおそらく別の問題だろうと思います。

基本的に問題はウォシュレットがノルウェーのトイレの部屋に向いていないからだと思います。トイレとシャワーは普通に同じ部屋にあるので、コンセントをつける場所が少ないです。水に降れてはいけないため、コンセントはよく鏡の上にあります。つまりウォシュレットを床におく事ができません。他にも、日本ではトイレと、お風呂場、そして脱衣所が分かれています。ですから、トイレにウォシュレットを設置する事が簡単なのだと思います。

将来は、ノルウェーでも様々な場所でウォシュレットが使えるようになると思います。今日はスピーチを聞いてくださって誠にありがとうございました。